

2022年5月13日

横須賀ごみ処理施設で発電した電力を横須賀市役所に供給 ～横須賀市における電力の地産地消の取り組みを推進～

日立造船株式会社は、2022年5月に神奈川県横須賀市の横須賀ごみ処理施設で発電した電力を調達し、横須賀市役所本庁舎に電力を供給する電気需給契約を締結しました。*

*横須賀市役所本庁舎の使用電力が横須賀ごみ処理施設の供給電力を上回る場合は、他のごみ処理施設より電力を供給します。

横須賀市は2021年にゼロカーボンシティを宣言し、2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指して、地球温暖化対策の取り組みを進めています。

そうした中で、横須賀市は市内のごみ処理施設で発電される地産地消の電力を利用することによって、年間で約1,684トンのCO₂排出量削減効果を見込んでいます。

*東京電力エナジーパートナー株式会社が公表しているCO₂排出係数をもとに算出

【当社の電力小売り事業について】

当社グループは、アジアや欧州を中心に約1,000件のごみ処理プラントの建設を手掛けており、世界トップクラスの実績を有しています。また、2015年より再生可能エネルギーを使用した小売電気事業に参入し、これまでに東京都庁舎や国立市役所本庁舎、大阪府大手前庁舎などに再生可能エネルギー電力を供給してきました。

当社の小売電気事業は、ごみ焼却発電から約80%を調達することにより、CO₂の排出量が低く*、また、天候などの影響を受けずに豊富で安定した電力を供給しています。

当社は再生可能エネルギーの普及を通じて、今後も国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献していきます。

*2020年度実績 基礎排出係数 0.082kg-CO₂/kWh、調整後排出係数 0.027kg-CO₂/kWh

本件の概要

電力供給施設	横須賀市役所本庁舎本館1号館、2号館、3号館、分館
年間電力供給量（予定）	3,646,070kWh
年間CO ₂ 削減量（予定）	約1,684t-CO ₂
契約期間	2022年5月～2024年4月